

連合総研レポート「DIO」で高島屋労使の「グローバル枠組み協定」を紹介しました！

～「グローバル枠組み協定(企業の行動規範に関する労使協定)締結の意義と労働組合に求められること」【執筆:末吉中央執行委員長】～

2011年10月1日発刊の連合総研レポート「DIO」No.264において、「労働 CSR の現状と労働組合の課題」特集の中で、当社労使の「グローバル枠組み協定(企業の行動規範に関する労使協定)締結の意義と労働組合に求められること」(執筆:末吉中央執行委員長)が掲載されました。

グローバル枠組み協定(GFA)とは？

企業の行動規範に関する労使協定のことであり、「企業が社会的責任を果たしていくために、労使がともに社会的パートナーとしてそれぞれの役割と責任を果たし、その行動を社会に示す中で社会との積極的な対話を通じて信頼関係を築いていこう」というものです。日本では高島屋労使が唯一の締結企業です。

本文では、当社における GFA の締結と公約、その今日的意義や取り組み状況について、分かりやすく記載されています。ぜひご覧くださいませ。

連合総研レポート(No.264)は下記アドレスからご覧頂けます。

(当該記事は P12 ～15 に掲載されています。)

<http://rengo-soken.or.jp/dio/pdf/dio264.pdf>

連合総研とは？

連合総合生活開発研究所(略称:連合総研、「RENGO-RIALS*」)の略で、働く者のシンクタンクとして1987年12月1日に発足しました。翌年には、経済企画庁(現内閣府)・通商産業省(現経済産業省)・厚生省・労働省(現厚生労働省)共管の財団法人となりました。2011年4月1日からは、「新しい公共」を担う公益法人制度改革に沿い、「公益財団法人」として再スタートをきっています。

連合総研では、勤労者とその家族の生活の向上、我が国経済の健全な発展と雇用の安定に大きく寄与することを目的に、内外の経済・社会・産業・労働問題など、幅広い調査・研究活動を進めています。

【連合総研ホームページ】

<http://www.rengo-soken.or.jp/>